

雄勝地区

2月28日(土)、雄勝公民館で、自主防災研修会が開催されました。

雄勝地区自主防災連絡協議会と石巻市社会福祉協議会ボランティアセンター雄勝が主催し、石巻市社会福祉協議会の職員が講師を務めました。

当日は、雄勝地区自主防災会役員、雄勝婦人防火クラブ員など約60人が集まり、大規模災害の発生に備え、災害を目の前にした一人ひとりが地域でしなければならぬことを再認識し、「必ず来る」宮城県沖地震とそれに伴う津波災害などに備えるための知識を深めました。

自主防災研修会開催



河北地区

火災発生ゼロを目指して



3月2日(月)、春の全国火災予防運動に伴い、河北消防団・消防音楽隊・河北婦人防火クラブの消防関係者と河北幼稚園の園児達が、飯野川商店街をパレードしました。

この日は、河北消防署一日消防署長に任命された、岡田あい子さんが、「火の元には充分に気をつけましょう」とあいさつを行い、その後、消防音楽隊を先頭に「火の用心! マッチ1本火事のもと!」と元気に掛け声を掛けながらパレードを行いました。

桃生地区

2月18日(木)、桃生公民館文化ホールで、長生大学閉講式が行われました。

長生大学は、生きがいづくりを目的に、4年制の大学と大学院を開催しているもので、書道やカラオケなど4つのコースに分かれ、月に1、2回ほど学習します。

今年は、78人の受講生のうち69人の方が卒業・修了し、各学年の代表者に修了証書、皆勤賞が授与され、卒業者には個人ごとに卒業証書が授与されました。

卒業証書・修了証書を授与



河南地区

クラシックを身近に



2月21日(土)、遊楽館で、宮城学院女子大学音楽科を今春卒業した4年生5人の演奏による「こもれびの降る丘音楽会」が開催されました。

遊楽館と同校は、市民の皆さんへ音楽鑑賞機会を提供するため平成17年度より連携しており、春と冬にこの音楽会が開催されます。

今回は声楽、ピアノ、フルートで、訪れた多くの来場者に生の音楽を体験してもらいました。

このほかに遊楽館では、毎月第2、第4土曜日の午後0時15分から、パイプオルガンのミニコンサート(入場無料)を開催していますので、ぜひご来場ください。

牡鹿地区

2月26日(木)、保健福祉センター「清優館」で、食生活改善推進員連絡協議会牡鹿分会主催の「みやぎ21健康プラン テーマ別講習会」が開催されました。

塩分の摂取を減らし、乳製品と野菜の摂取を増やして、健康な食生活を指すための講話と調理実習とあわせて、参加者は、調理レシピをじっくり見て、調味料の配合に手間取りながらも、慣れた手つきで食材を調理していました。

牡鹿食改では、「今後毎年4、5回の活動を予定していますので、牡鹿地区にお住まいで時間と興味がある方は、



健康的な食生活始めませんか？

ご入会お待ちしております」と新規会員を募集していました。

北上地区

総合発表会



1年間を振り返って

生活・総合学習発表会

2月20日(金)、北上公民館交流ホールで、吉浜小学校の生活・総合的な学習

発表会が保護者やお世話になった地域の方々を招待して行われました。

川の健康診断士「北上川調査隊」として、下流域の水質や水生生物、河口に広がるヨシについての発表や、プロジェクトK(北上)と題して、自分達の住む北上の見所を探しながら、写真に収めてみるさと北上の良さを再発見した企画などの発表がありました。

会場では、子ども達が一年間を通して学習、体験してきたことを一生懸命発表する成長した姿に、大きな拍手が送られました。

石巻地区



▲中央左から、市川さん、伊藤さん、高成田さん

巻茶色い焼きそば調理コンテストの調理・試食審査が行われ、審査員は、

味はA級！ 石巻焼きそば！！

3月1日(日)、石巻中央公民館で、石巻茶色い焼きそば調理コンテストの調理・試食審査が行われ、審査員は、

シビ審査で選考された10作品が当日調理され、オリジナルのB級グルメが会場内をのびのびと香り包み込みました。

どの作品も、具材はもちろん、だし汁に至るまで工夫されており、素晴らしい出来栄で、味は間違いなくA級でした。

優秀賞以上は次のとおり。

◆最優秀賞 いしのまきホタテ焼きそば(伊藤靖浩さん 市内桃生町)

◆優秀賞 一石巻純情焼きそば(市川健さん 仙台市) 石巻焼きそば(カキ・エビ合戦(高成田恵さん 市内双葉町))

優しいお見さん達とメバルを放流！



2月27日(金)、曇り空の中、渡波港岸壁の防波堤で、はまなす保育所の子ども達25人と宮城水産高校の生徒達が、約1,000匹のメバルの幼魚(体長12〜14cm)を放流しました。

ライフジャケットを着用し、バケツを手にした子ども達は、冷たく吹き付ける潮風もなんのその、これから始まる出来事にワクワクしていました。

メバルがバケツに入れられると、子ども達からは歓声があがり、優しい宮水生のお兄さん達に手ほどきを受け、「大きくなつてね」とメバルに声を掛けながら丁寧に海へ放していました。